

# 仮想通貨とは？

初心者向けに話題のビットコインなどを東大生が分かりやすく解説！

2018.5.7 | 仮想通貨とは COINOTAKU

近年急速に広まっている仮想通貨・ビットコイン。これはそもそもどういう仕組みでどんなメリットやデメリットを持っているのでしょうか？そして、仮想通貨投資を始めるにはどうしたらいいのでしょうか？この記事を読めば仮想通貨に関する疑問が解消します！

「仮想通貨やビットコインって最近よく耳にするけど、実際どういうものなのか分からないし、なんだか危なそう…」そうお考えではありませんか？

実はブロックチェーンなどの仕組みについて理解すれば、仮想通貨が意外と安全なものだと分かります。なぜなら、仮想通貨の背景には様々な高度な技術が関わっているからです。

この記事では、円や電子マネーとどう違うのかなど、仕組みについての説明から始めて、デメリット、投資のしかた、税金の話まで仮想通貨についてのありとあらゆる事柄について解説します！

## この記事を読むと分かること

仮想通貨が円や電子マネーとはどう違うのか

ビットコインの仕組みはどうなっているのか

仮想通貨を購入するのにおすすめの取引所

仮想通貨投資のしかた

## 目次

- 1.仮想通貨とは？
- 2.仮想通貨はやっぱ危ないの…？
- 3.仮想通貨はどうして安全？初心者に分かりやすく仕組みを説明！
- 4.仮想通貨の危険・デメリットとは…？
- 5.仮想通貨のメリットは？
- 6.仮想通貨はビットコインだけではない！
- 7.仮想通貨を買うには？取引所選びの基準を知ろう！
- 8.仮想通貨のおすすめ取引所3選
- 9.仮想通貨投資のしかたは？

# 1. 仮想通貨とは？

仮想通貨とは、ブロックチェーンや電子署名といった暗号技術を組み合わせて成立する、国家による価値の保証を持たない電子的な通貨のことを指します。

ナカモトサトシという正体不明の経済学者によって投稿された論文（2008年）において初めてその具体的な形が示され、最初の仮想通貨「ビットコイン」が誕生しました。

## 資金決済法で金融庁にも認められている！

仮想通貨は日本政府によっても定義がなされており、資金決済に関する法律の第2条5項において、以下のように定義されています。

一 物品を購入し、若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合に、これらの代価の弁済のために不特定の者に対して使用することができ、かつ、不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる財産的価値（電子機器その他の物に電子的方法により記録されているものに限り、本邦通貨及び外国通貨並びに通貨建資産を除く。次号において同じ。）であって、電子情報処理組織を用いて移転することができるもの

二 不特定の者を相手方として前号に掲げるものと相互に交換を行うことができる財産的価値であって、電子情報処理組織を用いて移転することができるもの

ざっくりまとめると、電子情報処理組織を用いることによって渡したり受け取ったりできる財産的価値のことを仮想通貨と呼ぶわけです。仮想通貨というと怪しい響きがありますが、政府にもきちんとその存在を認められているわけです！

## 仮想通貨は法定通貨や電子マネーとは大きく違う！

日本円やドルなどの国が発行している法定通貨や電子マネーと仮想通貨は何が異なるのでしょうか？この比較から仮想通貨の持つ特徴が見えてくるはずです！

### **仮想通貨の法定通貨・電子マネーとの違い**

中央管理者がない

発行上限がある

換金が可能

## **仮想通貨は分散型！**

日本円は日本政府という発行主体が存在し、電子マネーは、Suica を例にとると、JR によって管理がなされています。また、電子マネーの価値はそもそも日本円に依存しているので、同時に日本政府も信頼している必要があります。

しかし、仮想通貨は発行主体もいなければ、管理団体もありません。**誰かと誰かの 1 対 1 のやり取りを、みんなで監視し合うシステム**になっています。そのため、中央集権型と対比され、**仮想通貨は分散型の通貨**とされています。

日本円というただの金属や紙が価値を持つのは、それを発行する日本政府が信頼されているからこそです。銀行にお金を預ける場合には通帳に記載された分のお金を払い戻してくれると、銀行に対して信頼を置く必要があります。

また、Suica をタッチした時に表示されている〇〇円というデータを見て、その分の買い物ができるとするのは JR がそのデータを書き換えたりせず、正しい処理をしてくれると信頼しているからこそです。

しかし、仮想通貨はみんなで監視をしあっているため、**特定の人、団体を信頼する必要がない**です。自分が保有している仮想通貨の量は、その仮想通貨のネットワークに関わるみんなが行う作業によって、それが書き換えられないことが保証されています。

つまり、電子マネーと仮想通貨はお金がデータであるという点では同じですが、そのデータの管理をある 1 つの団体に任せているのか、それとも、**みんなで管理していくような仕組み**になっているのかで異なると言えます。

「信頼できる国や会社が管理しているんだから、分散型であることのメリットなんてあるの？」と思う方もいると思います。

日本はしっかりした国で、日本円の価値を疑うことなどないと思いますが、実は政府が信頼されていないような国では、法定通貨から仮想通貨への移行が大規模に進んでいます。

例えば南米ベネズエラでは、ハイパーインフレーションによって、法定通貨「ボリバル」の価値が暴落し、ビットコインが決済手段としての「生命線」となっています。

南米のベネズエラで、年率 2000%とも言われるハイパーインフレに苦しむ同国では、ビットコインに対する需要が急増しています。

他にもアフリカのジンバブエでは同様の状況に陥っており、法定通貨よりも仮想通貨の方が信頼がおけるため、仮想通貨への移行が進んでいます。財政難に陥ったりすると、**国民から法定通貨が信頼されなくなり、どこにも信頼を置く必要のない仮想通貨に注目が集まる**わけです。

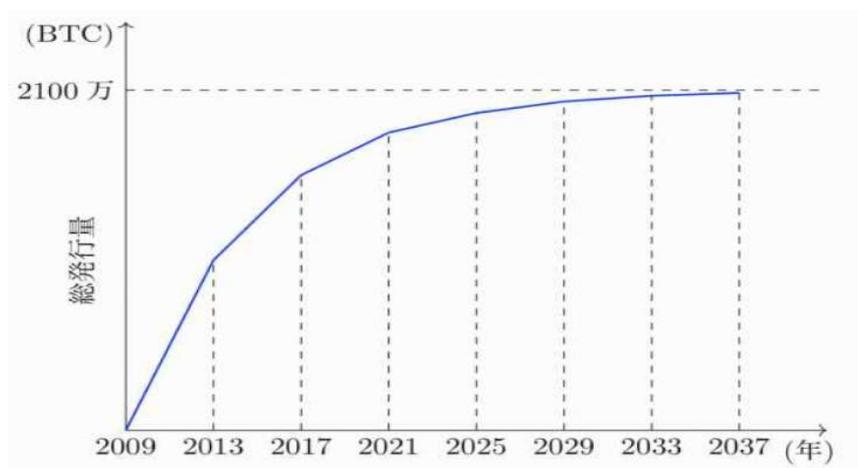
日本円がほとんど無価値になるとはいませんが、法定通貨はこのような危険を孕んでいます。電子マネーも管理会社が経営難に陥った場合、その電子マネーが支払い手段として使えなくなり得ますよね。

### **仮想通貨は発行上限がある！**

法定通貨では、発行上限が決まっておらず、必要であればいくらでも発行することができます。そのため、上のようなとんでもないインフレーション起こったりします。しかし、**多くの仮想通貨では発行上限が定められています。**

ビットコインを例にとると、**ビットコインはマイニングという作業を成功したときに、新しく発行したビットコインで報酬を支払うことで、ビットコインの新規発行が行われていく、という仕組み**になっています。(マイニングについては後述)

そして、その発行量は徐々に少なくなっていく、新規発行が行われなくなると、ビットコインのやり取りの際に支払う手数料によってマイニングに対する報酬が支払われるようになっていきます。



ビットコインの総発行量の推移は、ビットコインの新規発行が約 10 分に一度のペースに保たれている場合、上図のようになります。指数関数が折れ線で近似されており、発行量が 2100 万 BTC に漸近していく様子が分かります。

2100 万 BTC(厳密には 20,999,999.9769 BTC)が最終的に発行されます。これは、安定資産と呼ばれることも多い金の埋蔵量と採掘量の推移を参考にして設計されています。

## **仮想通貨は換金可能**

仮想通貨は換金が可能という点でも電子マネーと大きく異なります。

例えば、Suica に一度チャージしたお金は原則元に戻すことができません。これはなぜかという、もし現金に戻すことができってしまった場合、JR は一時的にお金を預かっていたことになり、**銀行と同じような業務をすることになってしまう**からです。

仮想通貨の場合は、**法定通貨を仮想通貨に換えたり、仮想通貨を法定通貨に戻したりが自由にできません。**

電子情報となったお金という点で電子マネーと仮想通貨は似ていますが、換金可能かどうかにおいても異なるわけですね！

## **2. 仮想通貨はやっぱり危ないの…？**

### **高度な数学と暗号技術に支えられているので安全！**

仮想通貨というと、やっぱり突然消えてなくなってしまうのではないか、危ないのではないか、と思う方も多いでしょう。

仮想通貨は、英語では Cryptocurrency (暗号通貨) と呼ばれることから分かるように、**高度な暗号技術(Crypto)**によって支えられている**通貨(Currency)**です。この暗号の背景にはとても高度な数学があり、暗号は堅牢なものになっています。

**仮想通貨だからこそ特別に危険なところはほとんどない**と言ってよいです。

### **もちろん危険性も…**

上で述べたように、仮想通貨だからこそ特別に危険なところはほぼありませんが、当然電子的な情報でありネット上で取引が行われていくため、**インターネットを使うときと同様の危険性、注意点は**

つきまといます。

この危険性についてはあとで詳しく述べていきます。

### 3. 仮想通貨はどうして安全？初心者に分かりやすく仕組みを説明！

仮想通貨がどうして安全なのか知るにはその仕組みを知る必要があります。仮想通貨の仕組みは1つ1つ微妙に違っているので、ここでは最も代表的な仮想通貨である「ビットコイン」の仕組みを例にとって説明していききたいと思います！

#### 3つのキーワードを知っていればOK！

ビットコインの仕組みと言われると身構えてしまいがちですが、実は仕組みを知る上で必要なキーワードはたった3つです！

#### ビットコインの仕組みを理解するための3つのキーワード

不正送金を防止する「電子署名」

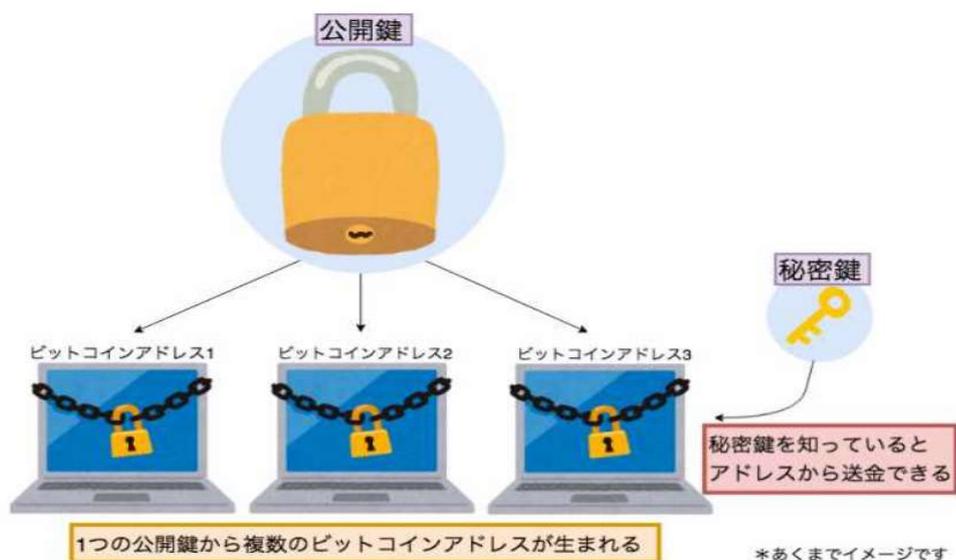
公開された電子台帳「ブロックチェーン」

計算によって改ざんを不可能にする「マイニング」

この3つのキーワードを理解していれば、十分仮想通貨について知っていると言ってよいでしょう！

では、それぞれについて丁寧に解説していきます！

#### 【ビットコインの仕組み1】電子署名



ビットコインでは、誰から誰かにビットコインを送りました、という**電子的な取引証明書(トランザクション)**を使うことによって、お金のやり取りが行われています。

ここでは、AさんからBさんに1BTCが送られる場合を考えてみましょう。

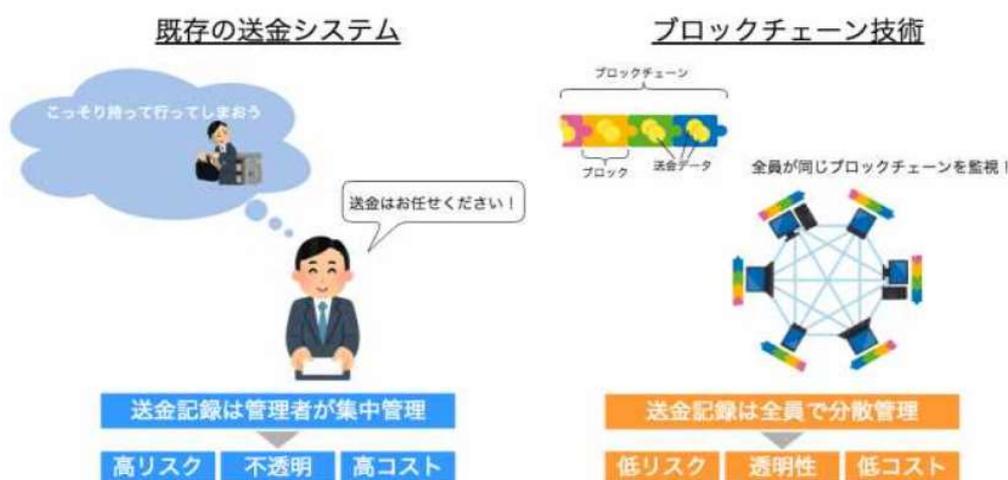
もし、「Aさんが1BTCをBさんに送るというトランザクション」が勝手に作られてしまったら、Aさんのお金が勝手に盗まれることになってしまいますよね？これを防ぐのが電子署名という技術です。

Aさんはトランザクションを**暗号化する鍵**と、その**暗号を解く鍵の2つ**を持っています。ここで、暗号化の鍵はAさんしか持っていないで、暗号を解く鍵はみんなも持っています。

そこで、AさんがBさんに1BTCを送りたい場合、それを書いたトランザクションを作ってから暗号化し、暗号化されたトランザクションをみんなに公開します。そのあと、Aさん以外の誰かが暗号を解く鍵を使って暗号を解いてみます。そこで、上手く暗号が解ければ、これはAさんしか持っていない鍵によって暗号化されているから、Aさんが書いたものだと分かるわけです！

したがって、**電子署名によって、勝手に送金トランザクションを作られること、つまり、仮想通貨が盗まれることが起こらない**ようになっています！

## 【ビットコインの仕組み 2】ブロックチェーン



ブロックチェーンというのはさっきのトランザクションを**全部記録している台帳**のことを指します。いくつかのトランザクションをまとめたものを**ブロック**と呼び、それが鎖のようにたくさん連なっているの

でブロックチェーンと呼ばれています。

さっきの電子署名技術によって、トランザクションの正当性が確かめられるので、正しくないものはブロックチェーンに書き込まれません。

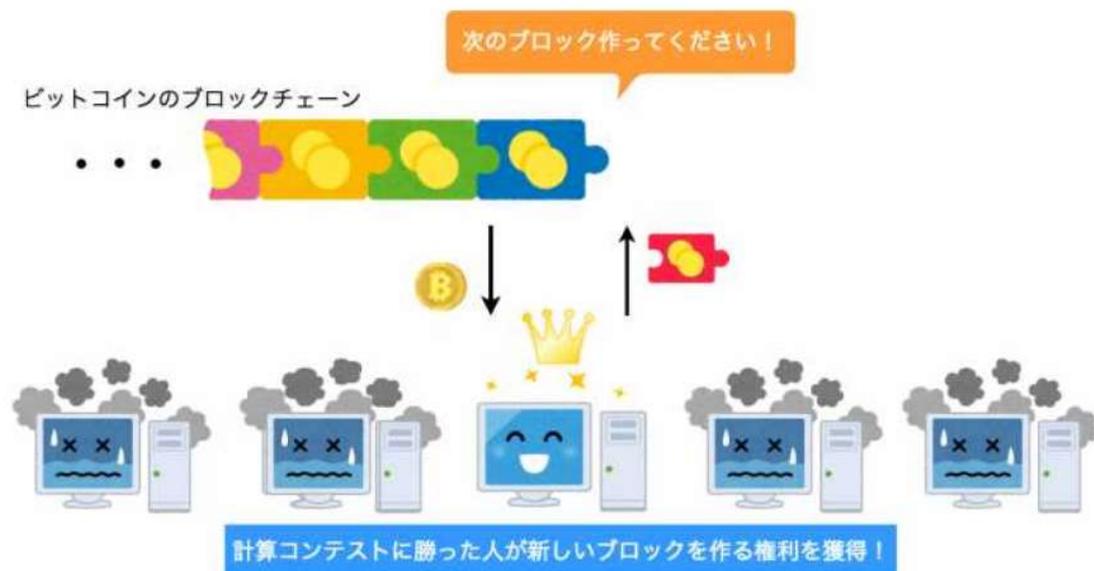
「ビットコインは実体がないのでは？」と思っている方も多いと思いますが、それは正しいです。**ビットコインはブロックチェーンに書き込まれた今までの取引を参照することによって、自分がどれだけのビットコインを持っているのかが分かる仕組み**になっています。

ブロックチェーンは世界中のいろんな人が保管しているので**データがすべて失われることはありません**。

「けど、ブロックチェーンに書いてある情報が改ざんされてしまったら自分の持っているビットコインの量が変わってしまうのでは？」と思う方も多いでしょう。その指摘も正しいですが、**ブロックチェーンの改ざんは不可能**になっています。

この改ざん不可能性に関わってくるのが「**マイニング**」です。

### **【ビットコインの仕組み 3】マイニング**



マイニングとは、**世界中の人が取り組む計算作業**のことです。当てずっぽうに色んな値を試して計算してみて、OKが出るまでその作業をやり続けます。これにはものすごく時間がかかって、世界中の高性能なコンピューターが競い合いながらやっても10分くらいの時間がかかります。

このマイニング作業は、各ブロックに対して行われていき、OKが出た時の値はそのブロックに記録され、値が記録されたブロックは、今までのブロックチェーンに繋がれます。値探しに成功した場合にはビットコインでの報酬が与えられるので、世界中の人達が競い合ってマイニングを行います。

さて、マイニング作業がどうしてブロックチェーンの改ざんを不可能にするのかというと、**改ざんをした場合にはこの値探しをもう一回やらなければいけない**からです。先ほど述べたように、この値探しの計算作業は、「世界中の」「高性能な」コンピューターが競い合っていることなので、改ざんは実質的に不可能になっているんです。

つまり、**ブロックチェーンに記録する際にマイニングという作業をすることで、改ざんが不可能になるわけです！**

「そもそもなんで値探しをもう一度やらないといけなくなるの？」という疑問を持った方は、数学的な背景に少し踏み込むこととなりますが、以下の記事で詳しく説明がされているので、是非読んでみてください！

※ブロックチェーンの仕組みと理論をわかりやすく説明！初心者向けから上級者向けまで

(<https://coinotaku.com/?p=2808>)

#### 4. 仮想通貨の危険・デメリットとは…？

仮想通貨には当然危険やデメリットも存在します。仮想通貨を始めたい、投資をしたいという方はこれらをしっかり理解しておく必要があります。

##### 仮想通貨の5つのデメリット

- 盗まれる可能性がある
- 電気がないと使えなくなってしまう
- 値動きが激しく大損する可能性大
- 発行が簡単のため、詐欺通貨が多い
- ネットワークを乱す攻撃が存在する

具体的には以下の5つのデメリットが挙げられます。

それぞれについて詳しく見ていきましょう！

### 盗まれる可能性がある

仮想通貨の仕組みのところで、電子署名という技術によって仮想通貨は盗まれないようになっていくことを述べましたが逆に言えば、**暗号化するための鍵(秘密鍵)を漏らしてしまったら簡単に資産を盗まれてしまいます。**

パスワードを誰かに知られてしまったら勝手にログインされてしまうのと同じように、仮想通貨は秘密鍵がハッキングなどによって盗まれてしまったら勝手にトランザクションを作り出されてお金が盗まれてしまいます。

よって、仮想通貨を扱う上では**秘密鍵の管理が非常に重要**になってきます。

これはインターネット一般について言える注意ですが、仮想通貨の場合は情報が漏れるとそれがお金に直結してしまうので、**セキュリティには細心の注意を払う必要があります。**

### 電気がなければ当然使えない

紙のお金はいつでも使うことができますが、**仮想通貨のやり取りにはネットが必要なので、電気がないときには使えません。**例えば、ビットコインの支払いをするときにはスマホやタブレットが必要ですが、その電池が切れてしまった場合にはビットコインでの支払いはできなくなってしまいます。

しかし、**ビットコインデビットカード**を持っていれば、スマホを使わずに、クレジットカードと同じようにビットコインでの支払い(厳密にはビットコインを換金しての支払い)ができます。ビットコインデビットカードについて詳しく知りたい方は以下の記事を読んでください！

ビットコインデビットカードを徹底比較！日本で使えるのは??税金はかかるの??

(<https://coinotaku.com/?p=747>)

### 値動きが激しく、投資で大損する可能性も

仮想通貨を投資対象として考えている方も多いと思いますが、仮想通貨は全般として値動きが激しいです。これを「ボラティリティが高い」という風に言いますが、ボラティリティの高い資産は

大儲けする可能性もあれば、逆に大損する可能性もあります。仮想通貨投資をする上ではこのリスクを認識して行わなければなりません。

仮想通貨のボラティリティについて詳しく知りたい方はこちらの記事を読んでください！

ボラティリティとは？ビットコインや仮想通貨を株・FX と徹底比較！

(<https://coinotaku.com/?p=339>)

### 発行が簡単なせいで詐欺コインも多い

仮想通貨は誰でも簡単に発行することができます。例えば、Counterparty や Waves といったプラットフォームを用いれば、プログラミングなどの知識がなくても手軽に独自の仮想通貨を発行することができます。

※Counterparty (XCP) とは？最注目プラットフォームに迫る！

(<https://coinotaku.com/?p=2145>)

※Waves はただの仮想通貨ではない！ICO に使われるプラットフォームの特徴とは？

(<https://coinotaku.com/?p=1125>)

この仮想通貨発行の手軽さから、最近、“ICO(Initial Coin Offering)”(<https://coinotaku.com/?p=1310&f=4338>)という“投資してもらった代わりに仮想通貨を渡す”という形態の資金調達法が非常に流行っていますが、資金を集めたあとにほとんど何も仕事をしなくなってしまいう ICO が多数存在します。

仮想通貨に関する法整備はまだ十分には整っておらず、このようないわゆる「仮想通貨詐欺」(スキャンム(<https://coinotaku.com/?p=1708&f=4338>))が横行しています。本当に信頼できる仮想通貨なのか、という見極めは非常に難しく、知識がないと厳しいです。

しかし、コインオタクでは、ICO についての記事も多数書いているので、記事を読んでおけば仮想通貨詐欺の見極めもバッチリです！

どの仮想通貨を買うときも、しっかり調べてから買えば問題ないでしょう！

### ネットワークを乱す攻撃がある

仮想通貨のネットワークを乱す攻撃というのが実は存在します。代表的なものとしては「51%攻撃」と

「リプレイアタック」の2つがあります。

これらについての話は難しいので省略しますが、以下の記事に詳しく書いてあるので、気になる方は読んでみてください！

51%攻撃とは？どのくらい危険なの？その対策も含めて解説します！

(<https://coinotaku.com/?p=1632>)

リプレイアタックの対策と危険性とは？知らずにビットコインを取引するとヤバイ？

(<https://coinotaku.com/?p=2124>)

## 5. 仮想通貨のメリットは？

仮想通貨にはもちろんメリットもたくさんあります！具体的には、以下の4つが挙げられます。

### 仮想通貨の4つのメリット

投資で資産が何倍にもなる可能性がある

送金が高速でしかも手数料が安い

海外で両替せずに使うことができる

通貨がアップデートされていく

それぞれについて詳しく見ていきましょう！

### 投資で資産が何倍にもなる可能性がある！

仮想通貨は現在どんどん市場規模が大きくなってきており、注目度も高まっています。ある程度しっかりした仮想通貨であれば、ほとんどすべて価格が上昇していると言ってもいいです。

そのため、「億り人」と呼ばれる、仮想通貨投資によって1億円の資産を築き上げる人が何人も現れていて、**投資をやったことのない素人でも儲けを出しやすいような状態にあります。**

いい仮想通貨なのに知名度が低くてまだ安い価格で取引されている、という仮想通貨を見つければ、**価格が何倍にも、良いときには100倍以上になるときもあります。**ここが仮想通貨投資の魅力でしょう。

### 送金が高速かつ手数料が格安！

仮想通貨はどこに送っても**手数料が格安！もしくは無料！**しかも、**すぐに送金が行われるものが多**

い！

例えば、**銀行で海外送金を行いたいという場合、2500～4000 円程度の手数料**がかかってしまいます。これを仮想通貨にかえるだけでだいぶ節約になりますよね。

しかし、ここには少し問題点があって、1つの仮想通貨のユーザーが増えすぎてしまうと、送金リクエストの渋滞が起こって、送金の遅延と手数料の高騰が起こってしまうことがあります。ビットコインは今まさにこれに直面していて、送金の渋滞問題が課題になっています。

送金手段としてはビットコイン以外の仮想通貨を用いる方が良いと言えます。

### **海外でも両替せずに使える**

仮想通貨で支払いのできるお店がだんだん増えてきていますが、例えばビットコイン決済のできるお店であれば、たとえ**海外にあるお店であっても全く同じようにビットコイン支払いをすることができます！**つまり、**仮想通貨決済に国境はない**、と言えます。

仮想通貨決済のできるお店がもっと広がっていけば、海外旅行に行くときにわざわざ両替をする必要がない、という風になるかもしれません！

ビットコイン支払いのできるお店、支払いのしかたについては以下の記事を読んでみてください。

ビットコイン決済が各所で導入！使い方や税金などすべての疑問を解決します！

(<https://coinotaku.com/?p=737>)

### **通貨がアップデートされていく！**

仮想通貨は、こんな機能があったらいいな、という場合には**機能を追加するためのアップデートをすることができます！**これが仮想通貨の最大の魅力と言ってよいでしょう。

たとえば日本円は電子マネーやクレジットカードなどのサービスによって便利に使えるようになりましたが、通貨自体はずっと変わっていませんよね。

## **6. 仮想通貨はビットコインだけではない！**

仮想通貨というとビットコインが圧倒的に有名ですが、現在仮想通貨はなんと **2000 種類以上**あります。すべてを紹介することはできないので、ビットコイン（約 156,493 億円）以外の時価総額上位の仮想通貨を 3つ紹介したいと思います。

## ビットコインに次ぐ時価総額！イーサリアム(約 76,070 億円)

ビットコインに次いで有名な仮想通貨であるイーサリアム。イーサリアムはビットコインとは違って、決済に使う仮想通貨を目指しているわけではなく、アプリケーション作成のためのプラットフォームを目指しています。

イーサリアムで作成できる機能としてスマートコントラクトというものがあります。これは、電子的な契約書をブロックチェーン上に書き込んでおくことで、ブロックチェーンの改ざん不可能性を活かして、契約書の改ざんをできなくするといったものです。信頼できる第三者を必要とせずに、契約を結べるようになるメリットは大きいですね。

イーサリアムについてもっと詳しく知りたいという方はこちら！

仮想通貨イーサリアム(Ethereum、ETH)とは？仕組み・将来性・チャートを解説！

(<https://coinotaku.com/?p=7136>)

## あの Google が出資！リップル(約 29,247 億円)

最近ツイッターでも話題になっているリップル。あの Google が出資を行ったことでも非常に話題になりました。リップルは銀行間での送金を行うために開発された通貨で、**送金にかかる時間が 4 秒程度と非常に高速な送金を行うことが可能**です。

海外にお金を送る場合も、単にお金を送るより、お金をリップルにかえて、高速に送金を行ったあと、リップルをまたお金に戻すということをすれば、高速にかつ格安で送金ができるしまうわけです。

リップルについて詳しく知りたい方はこちら！

仮想通貨リップル(XRP)とは？特徴・仕組み・将来性を日本一詳しく東大生が解説！

(<https://coinotaku.com/?p=8165>)

## ビットコインから分裂！ビットコインキャッシュ(約 22,535 億円)

ビットコインの分裂というニュースを耳にしたことがある方も多いと思いますが、ビットコインキャッシュはビットコインから分裂してできた仮想通貨の 1 つです。ビットコインに比べて**ブロックチェーンの 1 つのブロックの容量が大きく、送金の遅延が起こりにくくなっています**。

海外の仮想通貨取引所ではビットコインを基軸通貨として取引が行われるのが普通ですが、最近では、香港に拠点を持つ OKEx という大きな取引所でビットコインキャッシュが基軸通貨に採用されました。ビットコインの座を奪うことができるのか注目されています。

ビットコインキャッシュについて詳しく知りたい方はこちら！

仮想通貨 BitcoinCash (ビットコインキャッシュ、BCH) とは？特徴・仕組み・将来性・チャート分析を徹底解説！

<https://coinotaku.com/?p=7010>

上に挙げたもの以外にも個性的な様々な仮想通貨があり、それぞれ違う機能・特徴を持っています。仮想通貨の可能性は無限大だと言ってよいでしょう。

もっと色んな仮想通貨について知りたいという方はこちらの記事を読んでください！

仮想通貨おすすめランキング 2018 年完全版 | 東大生が 500 銘柄を徹底考察し選んでみた

<https://coinotaku.com/?p=6542>

## 7. 仮想通貨を買うには？取引所選びの基準を知ろう！

さて、仮想通貨を買ってみたい、という場合には仮想通貨取引所を利用する必要があります。でも、仮想通貨取引所っていろいろあってよく分かりませんよね。

そこで、取引所を選ぶときのポイント、そしてコインオタクのおすすめ取引所を紹介したいと思います！

### 取引所選びは 5 つのポイントに注目！

取引所選びのポイントとしては、①セキュリティの高さ②手数料の安さ③サーバーの強さ④取り扱い通貨の種類⑤使いやすさ の 5 つのポイントに注目しましょう！もちろん**セキュリティの高さが一番大事なポイント**です。

手数料と一口に言っても、取引の時にかかる手数料だけでなく、入出金にかかる手数料などもあるので、どういう使い方をするのか、どのくらいの額を運用するのかによってオススメ度合いは変わってきますが、今回は手数料は取引手数料だけに注目して書いていきたいと思います。

## 8. 仮想通貨のおすすめ取引所 3 選

### Coincheck(コインチェック)

初心者には1番コインオタクがおすすめするのは **Coincheck**(コインチェック)です。

**Coincheck** は①セキュリティ面は非常にしっかりしていて、②手数料は競合の **bitFlyer** よりも安く③サーバーダウンが比較的起こりにくく④取り扱い通貨の種類は日本で2番目⑤アプリが非常に使いやすいので、上に挙げたどの項目も十分満たしていると言ってよいでしょう。仮想通貨を始めるならとりあえず **Coincheck** を登録しておけば良いと思います！

**Coincheck** の登録はこちらから！

(コインチェック (Coincheck) とは？概要や特徴、登録までの流れを解説！

(<https://coinotaku.com/?p=204>)

### bitFlyer(ビットフライヤー)

2番目におすすめする取引所は **bitFlyer**(ビットフライヤー)です。

**bitFlyer** は利用者が日本一多いこともあってか③サーバーダウンが非常に起こりやすく、また、②手数料は **Coincheck** よりも高く、④取り扱い通貨は7種類しかないので、**Coincheck** に劣っているポイントは多いんですが、もちろん①セキュリティ面は非常にしっかりしていて⑤アプリも非常に使いやすいです。

**Coincheck** のアプリではビットコインの販売所という **Coincheck** 側の言い値で売買する機能しか使うことができませんが、**bitFlyer** では、個人間でビットコインの売買ができる取引所をアプリからも利用できる、というのが大きなメリットです。

**Coincheck** だけでなく、**bitFlyer** も登録しておくのが一般的です！

**bitFlyer** の登録はこちらから！

ビットフライヤー (bitFlyer) とは？手数料や評判使い方を網羅的に教えます！

(<https://coinotaku.com/?p=187>)

### Zaif (ザイフ)

最後のおすすめ取引所は **Zaif**(ザイフ)です。

**Zaif** は日本で3番目に大きな取引所ですが、③サーバーが弱くサーバーダウンが頻発しているので **Coincheck** や **bitFlyer** と併せての登録をおすすめしたい取引所です。⑤使いやすさも **Coincheck** や

bitFlyer にやや劣ります。

しかし、①セキュリティ面はもちろんしっかりしていて、また、②手数料は非常に安いです。

この手数料の安さというのは、Coincheck などに比べ物にならないくらい安いです。ビットコイン以外の仮想通貨を Coincheck で購入するときには 5%程度の手数料が取られますが、Zaif ではなんと 0%~0.3%です。そのため、Zaif で購入できる仮想通貨はなるべく Zaif で購入した方がよいです。

また、④取り扱い通貨の種類は実は日本一多く、Zaif でしか買えない仮想通貨というのも多いので登録しておいて損はないでしょう！

Zaif の登録はこちらから！

日本一の現物取引量を誇る Zaif (ザイフ) とは？特徴や使い方を徹底解説

(<https://coinotaku.com/?p=444>)

## 9. 仮想通貨投資のしかたは？

初心者の方は、仮想通貨投資のしかたすら全然分からないと思います。そこでコインオタクが3つの投資のしかたをお教えします！

### 仮想通貨投資のやり方 3 手法！

一度買ったらずっと売らない「ガチホ」

短期トレードをする

Twitter の有名人を監視しておく

### 一番手軽！ガチホする！

一番手軽かつ儲かりやすいのは、**将来性があるなと思った仮想通貨をガチホ**する(値が上がろうが下がろうが売ったり買ったりしないこと)というやり方でしょう。ガチホすると決めていれば、値動きも気になりませんし、普段の活動に支障をきたさずに済みます。

現に、仮想通貨投資を始めてから値動きを確認しすぎて、スマホの速度制限が早く来てしまったり、勉強に集中できなくなったり、という話をよく聞きます。(もしかしたらこれこそが仮想通貨投資の最も大きなデメリットかもしれませんね。)

投資自体にあまり慣れていないのであれば、このガチホが一番よいでしょう。

ガチホとは？スラングの意味や仮想通貨のガチホのしかた教えます！

(<https://coinotaku.com/?p=2170>)

### **短期トレードも儲かりやすい！**

仮想通貨はボラティリティが高いということはすでに述べましたが、ボラティリティが高いがゆえに、短期トレードでも大きな利益を上げることが可能です。FXなどでトレードに慣れている方は、レバレッジをかけた短期トレードをしてもよいでしょう。

ただ、レバレッジをかけた取引は大きな損失を出す可能性も同時にあるので注意しましょう。

取引所ごとのレバレッジ倍率比較などについてはこちらの記事を読んでください！

ビットコインのレバレッジは何倍？取引所の倍率比較やリスク分析も！

(<https://coinotaku.com/?p=1110>)

### **ツイ廃におすすめ！著名人や公式をフォローしておく！**

ツイッター滞在時間がものすごく長いいわゆる「ツイ廃」の方にしかできないおすすめの投資のしかたが実はあるんです！

それは、仮想通貨関係の著名人や、それぞれの仮想通貨の公式ツイッターをたくさんフォローしておいて、著名人が「〇〇っていう仮想通貨いいね」とつぶやいたり、公式ツイッターで「〇〇との提携が決定しました」とつぶやかれたりなど、ある仮想通貨についてのいいニュースを見たらすぐにその仮想通貨を買うという手法です。これをやれば実際ほぼノーリスクで儲けることができます。

市場規模の小さな通貨では、大きな取引所への上場、有名人の発言などで大きな値動きが起こるものです。また、市場規模の大きな仮想通貨であっても、大企業との提携や新技術の導入によって大きな値動きが起こります。

ツイッターをずっと見ておいてこれらに素早く反応し、売買を行うのはツイ廃であれば容易いでしょう。ツイッターというほぼ生産性のない活動をお金に換えるには仮想通貨を始めるのが手っ取り早いですね！！

そこで、フォローしておいた方がいい仮想通貨関係の有名人を紹介したいと思います！(以下、敬称略)

### イケダハヤト@lHayato (<https://twitter.com/lHayato>)

イケダハヤト(通称:イケハヤ)はツイッターで仮想通貨関係の人をフォローする  
ならまずフォローしておくべき人と言っても過言ではありません。イケハヤが  
紹介した仮想通貨は大きく値上がりすることが知られています。

仮想通貨投資のしかたがよく分からないけど、イケハヤの言ってる通りに売買  
をしていったら利益をあげられた、という人もいるくらいです。

### Roger Ver @rogerkver (<https://twitter.com/rogerkver>)

Roger Ver(ロジャー・バー)は、1BTCあたり100円程度だった時代からビットコインに目を付け、  
仮想通貨関連のスタートアップに多額の投資を行い、ビットコインの発展に大きく寄与したことで  
知られています。現在、Bitcoin.com (<https://www.bitcoin.com/>)という会社のCEOを努めています。

Roger Verがすごいのは、その発言はもちろん、資産が大きすぎるため、売買までもが相場に影響  
を与えてしまうところです。

売買そのものが影響を与えてしまうわけですから、当然、Roger Verが「〇〇を買おうと思ってい  
る」というツイートが出たら大きな騒ぎですよ。フォローは必須だと言えます。

### John McAfee @officialmcafee(<https://twitter.com/officialmcafee>)

John McAfee(ジョン・マカフィー)は、ウィルス対策ソフトで有名なMcAfeeの創設者です。現在  
は、MGT Capital Investmentsというビットコインマイニング事業会社のCEOを務めています。  
上に挙げたイケダハヤトやRoger Verと大きく異なるのは、おすすめ仮想通貨を紹介するツイートを  
頻繁にすることです。John McAfeeは世の中に2000以上ある仮想通貨の論文(ホワイト  
ペーパー)をすべて読み、その中でおすすめできると思った仮想通貨についてつぶやいているら  
しいです…

John McAfeeは2018年1月現在、「Coin of the week(今週のコイン)」という、将来性のあると思っ

た通貨の紹介をするツイートを毎週月曜日の朝にしています。

2017年12月21日から25日までは”Coin of the day(今日のコイン)”という毎日あるキャンペーンだったのですが、「仮想通貨のファン、取引所、開発者など、あらゆる方面の人からの重圧がかかっており、”Coin of the day”はもうすぐ始まる”Coin of the week”に替わります。そのツイートは毎週月曜の朝に行います。」とのツイートがあり、一週間に一度となりました。

“Coin of the week”以外にも仮想通貨についていろいろつぶやいたりしているので、フォローは絶対しておくべきでしょう！

ちなみに、McAfeeのツイッターがハッキングされ、何者かによってニセの”Coin of the day”をつぶやかれていたことがあります。その事件については以下の記事をご覧ください！

(<https://coinoaku.com/?p=4155>)

マカフィー氏のTwitterがハッキング。仮想通貨の価格を上げるマカフィー砲は偽物だった!?

(<https://coinoaku.com/?p=4155>)

セキュリティ対策の第一人者のジョン・マカフィー氏は今では仮想通貨の知識人としても知られています。彼のツイートは仮想通貨価格の著名人以外にも、仮想通貨の公式ツイッターをフォローしておく、提携や上場などの情報がすぐに入ってくるので良いと思います。

以上、“コインオタク”が初心者向けに仮想通貨について解説したものを紹介しましたが、仮想通貨の時価総額は現時点で、ビットコインだけでも15兆円を超え、全総額では40兆円を超えているものと思います。ナカモトサトシの論文から始まった仮想通貨ですが、僅か10年程度でここまでの資産価値を生み出しているのは驚きです。

仮想通貨でキャッシュカードのように世界中で買い物ができる時代が近い将来に来るかも知れませんね。損しても後悔しない程度で「ガチホ」で持っておくのもいいかもしれません。

本文は仮想通貨の取引を推奨するものではありません。取引は自己責任でお願いします。(村山泰男)